

## 高次脳機能障害チェックリストご利用のお願い

### 1.チェックリストの目的 ～支援を必要とする方を見過ごさないために～

高次脳機能障害を持つ方は、医療機関を対象とした調査では、福井県に約 750 でした（2007）。適切な支援が提供されることで、御本人・御家族の負担や不安を軽減できる場合があります、支援による社会生活の広がりが就労に結びつくケースもあります。

しかし現状では、障害についての十分な理解や適切な支援の提供がなされていないことがあります。高次脳機能障害と診断されてはいるものの、入院生活では目立った問題もなかったため気がつかれず、退院後の生活で問題が生じているのに支援を受けることができているケースが見受けられます。また、支援する側の医療・福祉・行政関係者の皆様からは「高次脳機能障害はよく解らない」という声をお聞きします。

そこで、当センターは各機関の窓口で支援を必要とする方を見過ごさないためのチェックリストを作成いたしました。何らかの脳損傷の既往がある方が、入院中や退院後の生活、職場復帰や再就職活動など、様々な場面で相談にこられた際、このチェックリストを是非御利用いただきたいと考えております。

### 2.チェックリストの記入方法

○入院中は担当看護師やリハスタッフ、退院後は家族や利用施設のスタッフなど、本人の日常生活をよく知っている方が、現在の生活の状況に基づいて記入して下さい。

○質問項目ごとに、0～4 までの 5 段階で、あてはまる数字を選んで丸をつけて下さい。

**5 段階 0：全くない 1：まれにある 2：時々ある 3：よくある 4：常にある**

○質問項目で、該当しない場合はとばして下さい。

例) 身体機能障害を合併しているために、質問項目にあるようなことを実施する機会がない

### 3.チェックリストの利用方法

○以下のような場合にご利用下さい。

①相談に来られた方の過去に脳損傷の既往があり、高次脳機能障害が疑われる場合

②高次脳機能障害ではないかと相談に来られた本人の障害状況を家族から聴き取る場合

③本人と家族の両方に記入してもらい、障害の認識の違いを確認する場合 など

○点数の解釈・・・高次脳機能障害は、障害の種類や症状の表れ方が非常に多彩であることや、障害の程度の判断が難しいことから、チェックリストの合計得点で障害の有無を判断することはできません。そのため、本人の障害の特性を把握したり、本人と家族の障害認識の違いを確認するための補助的手段としてご利用下さい。

### 4.高次脳機能障害が疑われる時

病歴 1 の質問に「はい」とお答えの方で、I～V の質問で 2、3、4 にあてはまる項目が多い場合は、高次脳機能障害が疑われます。障害者福祉サービス、経済的保障制度を活用するためには、医学的診断（画像診断、神経心理学的評価等）が必要となります。診断や評価の受け方についてのお問合せは、福井県高次脳機能障害支援センターまでご連絡下さい。

# 高次脳機能障害 チェックリスト

記入日：平成 年 月 日

本人氏名：	( 男・女 ) 生年月日：S・H 年 月 日 ( 歳 )
記入者：	本人との関係： 本人 ・ 家族 (続柄 ) ・ 支援者 ( )

■病歴を確認します。

1. 脳損傷の既往がありますか。 ( はい ・ いいえ )
2. はいと答えた方は脳損傷の種類をお答え下さい。 ( 脳卒中・脳外傷・脳炎・その他： )

■下記の55の質問項目について、0~4までの5段階で、あてはまる数字を選んで丸をつけて下さい。

5段階 0：全くない 1：まれにある 2：時々ある 3：よくある 4：常にある

		全くない	まれにある	時々ある	よくある	常にある
<b>I 記憶障害</b>						
1	昔のことは覚えているが、数時間前、数日前の出来事を覚えていられない	0	1	2	3	4
2	服薬や食事、話した内容などを忘れる	0	1	2	3	4
3	行ったことのある場所への行き方を忘れてたり、よく知っている場所で迷う	0	1	2	3	4
4	さっき言ったことや言われたことを忘れる	0	1	2	3	4
5	作業中に妨害が入ると、何をしていたか忘れてしまう	0	1	2	3	4
6	作業の手順が覚えられない	0	1	2	3	4
7	何度も同じ話をしたり、同じことを繰り返して質問する	0	1	2	3	4
8	物の置き忘れが多かったり、置いた場所を忘れる	0	1	2	3	4
9	新しいことが覚えられない	0	1	2	3	4
<b>II 注意障害</b>						
10	落ち着きがない	0	1	2	3	4
11	同じミスを繰り返す	0	1	2	3	4
12	周りの状況を判断せずに、行動を起こそうとする	0	1	2	3	4
13	注意が散漫になったり、集中力に欠ける	0	1	2	3	4
14	ひとつのことから他のことへ切り替えができない	0	1	2	3	4
15	ひとつのことに長く（5分間以上）集中して取り組めない	0	1	2	3	4
16	複数の指示を一度に言われたり、複数の指示者から言われると混乱する	0	1	2	3	4
17	二つのことを同時にしようとすると混乱する	0	1	2	3	4
18	周りの音や声に注意が散りやすい	0	1	2	3	4
<b>III 遂行機能障害</b>						
19	ひとつの物事にこだわってしまい、次の作業に進むことができない	0	1	2	3	4
20	いきあたり、ばったりの行動をする	0	1	2	3	4
21	決まった日課にそって行動できるが、変更や追加があると対応できない	0	1	2	3	4
22	効率よく物事を進めたり、最後までやり遂げることができない	0	1	2	3	4
23	自分で計画を立てて、物事を実行することができない	0	1	2	3	4
24	人に指示してもらわないと何もできない	0	1	2	3	4
25	物事の優先順位や段取りがつけられない	0	1	2	3	4

		全 く な い	ま れ に あ る	時 々 あ る	よ く あ る	常 に あ る
<b>Ⅳ 社会的行動障害</b>						
26	思うようにならないと大声をだしたり、暴力や暴言がある	0	1	2	3	4
27	無制限にお金を使う	0	1	2	3	4
28	無制限に食べたり、飲んだりする	0	1	2	3	4
29	やる気がでない	0	1	2	3	4
30	場違いな行動、発言をしてしまう	0	1	2	3	4
31	言葉が子供っぽくなったり、甘えた態度をとる	0	1	2	3	4
32	周りの人となじめない	0	1	2	3	4
33	状況に適した行動が取れない	0	1	2	3	4
34	感情のコントロールがうまくいかない	0	1	2	3	4
35	ひとつの物事にこだわる	0	1	2	3	4
36	自分からは何もしようとしない	0	1	2	3	4
37	自分でできることもすぐに人に依頼する	0	1	2	3	4
<b>Ⅴ その他の高次脳機能障害</b>						
<b>①失語症・失行症・失認症</b>						
38	なかなか言葉が思い出せなかったり、言い間違いをする	0	1	2	3	4
39	滑らかに話しにくい	0	1	2	3	4
40	思っている事が話せない	0	1	2	3	4
41	書くことや読むことが難しい	0	1	2	3	4
42	本人は滑らかに話しているつもりだが、周りは何を言っているか理解できない	0	1	2	3	4
43	見えているのにそれが何という名前か分からない	0	1	2	3	4
44	見えているのに何に使うか分からない	0	1	2	3	4
45	知っている人の顔が見分けられない	0	1	2	3	4
46	今まで使っていた物の使い方が分からなくなってしまう	0	1	2	3	4
47	服を着たり、脱いだりできない	0	1	2	3	4
48	麻痺した側の手足がないかのようにふるまう	0	1	2	3	4
<b>②易疲労性</b>						
49	すぐ疲労感を訴える	0	1	2	3	4
<b>③病識欠如</b>						
50	自分が障害をもっていることに対する認識がうまくできない	0	1	2	3	4
51	自分は何でもできると思っている	0	1	2	3	4
52	話を自分の都合のいいように解釈する	0	1	2	3	4
<b>④見当識障害</b>						
53	今日の日付や、今いる場所が分からない	0	1	2	3	4
<b>⑤半側空間無視</b>						
54	左側（または右側）にある人や物に気付かずに、ぶつかったりする	0	1	2	3	4
55	食事の際に左側（または右側）の品物だけ食べ残す	0	1	2	3	4

これで終了です。記入漏れがないか、ご確認ください。

チェックリスト実施後の対処法については、「高次脳機能障害チェックリストご利用のお願い」をご覧ください。